

2 地形

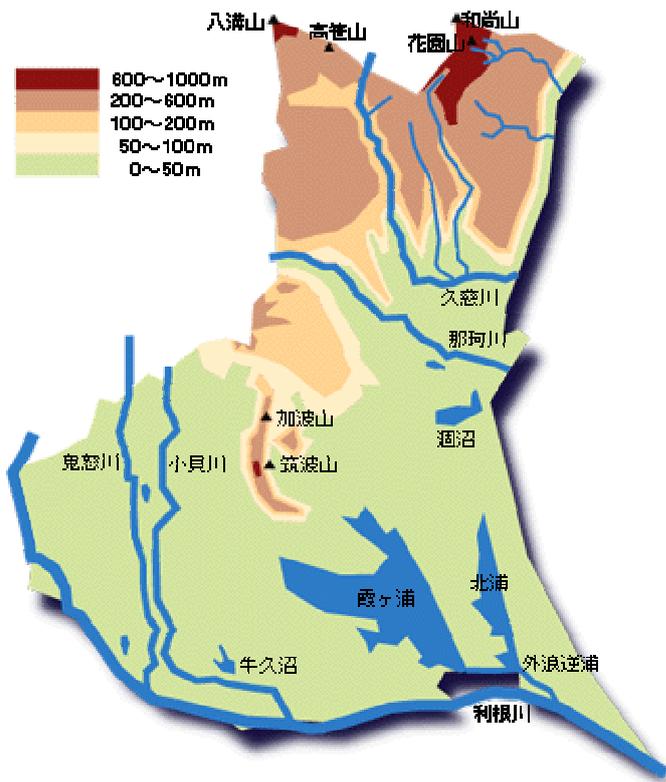
本県は、関東平野の北東部にあり、県北地域の東部と県央、鹿行、県南、県西地域にかけて広大な平野を形成しています。全国及び関東地方と比較すると、関東地方は全国に比べて平坦部(低地、台地)が大きな割合を占めていますが、本県は、関東地方の平均 46.1%よりもさらに平坦部の割合が高く、県土面積の 64.4%を占めています。

山地については、阿武隈山地の南端部に当たる八溝山地を中心とする県北、県央地域の西部と筑波山を中心とする県南、県西地域の一部に分布していますが、一般になだらかな山容となっています。

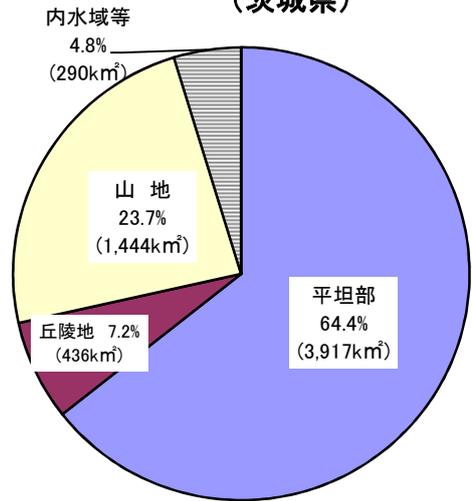
また、県北地域には久慈川、県央地域には那珂川、県南、県西地域の県境には利根川が流れており、いずれも太平洋に注いでいます。さらに鹿行、県南地域には霞ヶ浦、北浦、外浪逆浦などの広大な湖沼が分布しています。

このように、本県の地形は、関東ローム層に覆われた広大な平野と北部・北西部のなだらかな山地及び南部の湖沼から構成されています。

図表 1-2-1 茨城県の地形



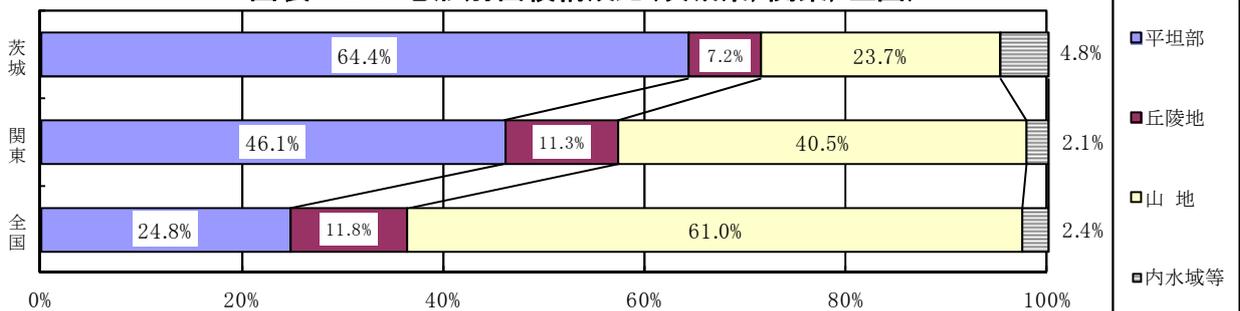
図表1-2-2 地形別面積構成比 (茨城県)



資料：国土地理院

「昭和 57 年度国土数値情報作成調査」

図表 1-2-3 地形別面積構成比(茨城県, 関東, 全国)



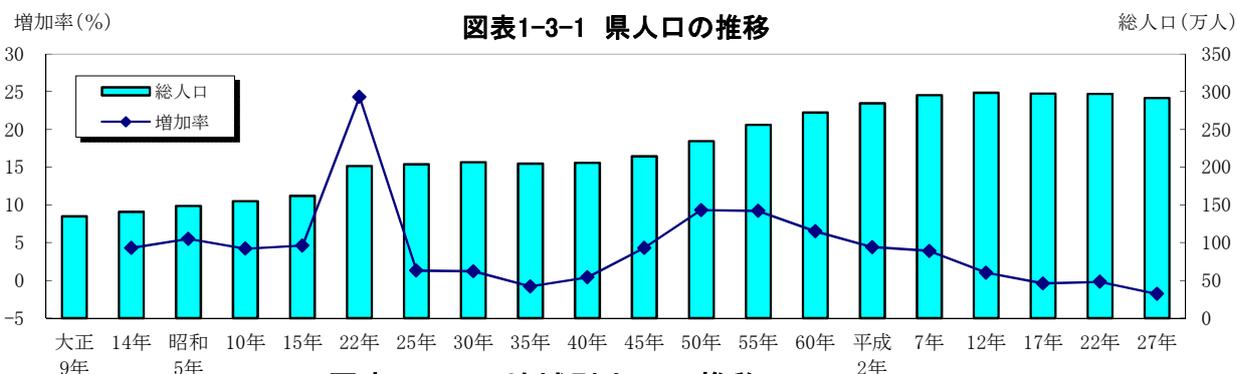
3 人口

(1) 人口の推移

本県の人口は、平成27年国勢調査（平成27年10月1日現在）の結果によれば、2,916,976人（男1,453,594人、女1,463,382人）となっており、前回調査（平成22年）からは、52,794人（1.8%）減少しました。

昭和22年から40年まで横ばい状態であった本県の人口は、40年代に増加に転じ、50年代には10%近い増加率を示しました。60年以降は増加率が鈍化する傾向となり、平成17年には昭和35年以来45年ぶりに減少に転じ、その後も平成22年、27年と減少が続いています。

地域別にみると、前回調査（平成22年）との比較で、県南地域を除く4地域で人口が減少しました。一方、県南地域では人口が増加したものの、増加率は前回より低下しています。なお、県南地域の人口は、県全体の約3分の1を占めています。



図表1-3-2 地域別人口の推移

年		平成2年	7年	12年	17年	22年	27年
地域	人口(人)	2,845,382	2,955,530	2,985,676	2,975,167	2,969,770	2,916,976
	増加数(人)	120,377	110,148	30,146	△ 10,509	△ 5,397	△ 52,794
	増加率	4.4%	3.9%	1.0%	-0.4%	-0.2%	-1.8%
	構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
県北地域	人口(人)	663,014	670,327	668,674	655,302	641,411	619,716
	増加数(人)	7,944	7,313	△ 1,653	△ 13,372	△ 13,891	△ 21,695
	増加率	1.2%	1.1%	-0.2%	-2.0%	-2.1%	-3.4%
	構成比	23.3%	22.7%	22.4%	22.0%	21.6%	21.2%
県央地域	人口(人)	463,555	472,385	475,586	474,571	474,770	468,040
	増加数(人)	10,686	8,830	3,201	△ 1,015	199	△ 6,730
	増加率	2.4%	1.9%	0.7%	-0.2%	0.0%	-1.4%
	構成比	16.3%	16.0%	15.9%	16.0%	16.0%	16.0%
鹿行地域	人口(人)	260,664	269,218	274,237	278,915	279,189	274,568
	増加数(人)	9,656	8,554	5,019	4,678	274	△ 4,621
	増加率	3.8%	3.3%	1.9%	1.7%	0.1%	-1.7%
	構成比	9.2%	9.1%	9.2%	9.4%	9.4%	9.4%
県南地域	人口(人)	869,449	939,973	968,296	977,236	1,000,060	1,000,720
	増加数(人)	73,507	70,524	28,323	8,940	22,824	660
	増加率	9.2%	8.1%	3.0%	0.9%	2.3%	0.1%
	構成比	30.6%	31.8%	32.4%	32.8%	33.7%	34.3%
県西地域	人口(人)	588,700	603,627	598,883	589,143	574,340	553,932
	増加数(人)	18,584	14,927	△ 4,744	△ 9,740	△ 14,803	△ 20,408
	増加率	3.3%	2.5%	-0.8%	-1.6%	-2.5%	-3.6%
	構成比	20.7%	20.4%	20.1%	19.8%	19.3%	19.0%

資料：県統計課「平成27年国勢調査人口等基本集計結果概要」

(2) 市町村人口の増減

人口の増減について、平成27年調査時と前回調査（平成22年）時で比較してみると、44市町村のうち、8市村（7市1村）で人口が増加し、うち5市の人口の増加率が2%以上となっています。残り36市町村（25市10町1村）で人口が減少し、うち22市町（12市10町）の人口の減少率が4%以上となっています。

図表 1-3-3 市町村別人口（平成22～27年）

地域	項目	人口(人)		平成22～27年		平成27年	
		平成27年 (a)	平成22年 (b)	増減数 (a)-(b)	増減率 (%)	面積 (km ²) (c)	人口密度 (人/km ²) (a)/(c)
茨城県計		2,916,976	2,969,770	-52,794	-1.8	6,097.06	478.4
計		619,716	641,411	-21,695	-3.4	1,888.05	328.2
北地域	日立市	185,054	193,129	-8,075	-4.2	225.74	856.3
	常陸太田市	52,294	56,250	-3,956	-7.0	371.99	151.2
	高萩市	29,638	31,017	-1,379	-4.4	193.58	160.2
	北茨城市	44,412	47,026	-2,614	-5.6	186.80	252.1
	ひたちなか市	155,689	157,060	-1,371	-0.9	99.93	1,585.3
	常陸大宮市	42,587	45,178	-2,591	-5.7	348.45	129.7
	那珂市	54,276	54,240	36	0.1	97.82	554.6
	東海村	37,713	37,438	275	0.7	37.98	998.9
大子町	18,053	20,073	-2,020	-10.1	325.76	61.6	
計		468,040	474,770	-6,730	-1.4	909.58	514.6
中央地域	水戸市	270,783	268,750	2,033	0.8	217.32	1,236.0
	笠間市	76,739	79,409	-2,670	-3.4	240.40	330.5
	小美玉市	50,911	52,279	-1,368	-2.6	144.74	360.5
	茨城町	32,921	34,513	-1,592	-4.6	121.58	283.7
	大洗町	16,886	18,328	-1,442	-7.9	23.74	790.3
	城里町	19,800	21,491	-1,691	-7.9	161.80	132.9
計		274,568	279,189	-4,621	-1.7	754	363.9
鹿行地域	鹿嶋市	67,879	66,093	1,786	2.7	106.02	623.7
	潮来市	29,111	30,534	-1,423	-4.7	71.40	427.6
	神栖市	94,522	94,795	-273	-0.3	146.94	643.7
	行方市	34,909	37,611	-2,702	-7.2	222.48	169.1
	銚田市	48,147	50,156	-2,009	-4.0	207.61	240.9
計		1,000,720	1,000,060	660	0.1	1,514	661.0
南地域	土浦市	140,804	143,839	-3,035	-2.1	122.89	1,169.5
	石岡市	76,020	79,687	-3,667	-4.6	215.53	369.6
	龍ヶ崎市	78,342	80,334	-1,992	-2.5	78.55	1,027.3
	取手市	106,570	109,651	-3,081	-2.8	69.94	1,567.3
	牛久市	84,317	81,684	2,633	3.2	58.92	1,387.3
	つくば市	226,963	214,590	12,373	5.8	283.72	755.4
	守谷市	64,753	62,482	2,271	3.6	35.71	1,753.6
	稲敷市	42,810	46,895	-4,085	-8.7	205.81	227.9
	かすみがうら市	42,147	43,553	-1,406	-3.2	156.60	278.1
	つくばみらい市	49,136	44,461	4,675	10.5	79.16	561.8
	美浦村	15,842	17,299	-1,457	-8.4	66.61	259.9
	阿見町	47,535	47,940	-405	-0.8	71.40	671.5
	河内町	9,168	10,172	-1,004	-9.9	44.30	229.5
利根町	16,313	17,473	-1,160	-6.6	24.90	701.7	
計		553,932	574,340	-20,408	-3.6	1,031	537.3
西地域	古河市	140,946	142,995	-2,049	-1.4	123.58	1,157.1
	結城市	51,594	52,494	-900	-1.7	65.76	797.3
	下妻市	43,293	44,987	-1,694	-3.8	80.88	556.2
	常総市	61,483	65,320	-3,837	-5.9	123.64	528.8
	筑西市	104,573	108,527	-3,954	-3.6	205.30	528.5
	坂東市	54,087	56,114	-2,027	-3.6	123.03	455.5
	桜川市	42,632	45,673	-3,041	-6.7	180.06	254.0
	八千代町	22,021	23,106	-1,085	-4.7	58.99	391.0
	五霞町	8,786	9,410	-624	-6.6	23.11	407.5
境町	24,517	25,714	-1,197	-4.7	46.59	552.0	

資料：県統計課「平成27年国勢調査人口等基本集計結果概要」

4 茨城県を取り巻く主な動向

近年の日本・世界の動向としては、平成 19 年にサブプライムローン問題の発生、平成 20 年には、アメリカのリーマン・ブラザーズの経営破綻により、世界同時不況に陥りました。

茨城県内に目を向けると、平成 22 年に開港した茨城空港においては、平成 24 年から那覇便が、平成 26 年から福岡便が就航するなど、ますます利便性が向上しています。港湾については、茨城港・鹿島港において、震災後、耐震化が講じられるなど復旧が着々と進んでいます。道路についても、平成 23 年には北関東自動車道の全線が開通し、北関東～太平洋間の交流がスムーズになりました。また、首都圏中央連絡自動車道の建設も着々と進んでいるほか、つくばと秋葉原を結ぶつくばエクスプレスの輸送人員も順調に増加しており、陸・海・空の広域ネットワークの整備が進行するとともに、着実に東日本大震災からの復旧・復興が進んでいます。

図表 1-4 茨城県及び日本・世界の主な動向

西暦	和暦	茨城県内の動向	日本・世界の動向
1999	平成 11	東海村 JCO 臨界事故発生	
2000	12	北関東自動車道初開通 (友部 JCT～水戸南 IC)	九州・沖縄サミット開催
2001	13	カシマサッカースタジアムがリニューアルオープン	アメリカ同時多発テロ事件発生
2002	14	2002FIFA ワールドカップが鹿嶋市で開催	2002FIFA ワールドカップ開催
2003	15	首都圏中央連絡自動車道県内初区間開通 (つくば JCT～つくば牛久 IC)	イラク戦争勃発
2004	16		新潟県中越地震発生
2005	17	首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス開業	愛知万博開催
2006	18	平成の大合併で 32 市 10 町 2 村に再編される	
2007	19		新潟県中越沖地震発生 サブプライムローン問題発生
2008	20	北関東自動車道県内区間が全通	米国リーマン・ブラザーズ経営破たん
2009	21		
2010	22	茨城空港開港	
2011	23	東日本大震災、福島第一原発事故発生 北関東自動車道全線開通 茨城空港神戸便・札幌便が増便	
2012	24	茨城空港那覇便が就航	東京スカイツリー開業
2013	25		2020 年東京オリンピック開催決定
2014	26	茨城空港福岡便が就航	消費税率 8 パーセントへ引き上げ
2015	27	平成 27 年 9 月 関東・東北豪雨	